

撮影にご協力をいただきありがとうございました。映画は12月20日に完成しました。

昨年秋から編集に入り、基幹放送局の独仏公共テレビ ARTE（アルテ）との2度の試写を経て従来52分の時間枠ですが、56分55秒まで受け入れてもらい完成させました。5つの章からなり、第1章・放射線雲の中の米軍兵士 第2章・死の灰の中の日本漁船 第3章・ラジウムガール 第4章・被曝と沈黙 第5章・怒りの訴訟 です。

放送局は腰が引けていましたがタイトルは、“我が友-原子力 放射能の世紀”にこだわり通りました。このタイトルはWalt Disney製作のOur Friend The Atomに由来しています。日本では1958年元旦に日本テレビが放送し、原子力を核兵器・核実験のイメージから分離する洗脳のプロパガンダでした。医学・産業・科学=未来イメージを原子力に植え付け、核兵器・核実験=軍事を区別し、核二元論を洗脳しました。憲法9条を持つ日本に原子力を導入するために、核の二元論は必須でした。我が友-原子力というタイトルにこだわったのは、放射能を切り口にして、原子力と核兵器、両者一体のイメージを再構成しようという意図からです。

現時点で独仏の放送日はまだ決まっていません。ただし国営ラジオテレビ・スイス(RTS)は今月12日(日)のプライムタイムで放送します。欧米での反響を踏まえた上、日本語版を作り日本でも公開できるように努力いたします。

配給に関しては考えるところがあり、何らかの工夫をしたいと思っています。

フランス・ドイツでの放送は、Arte Franceのサイト <https://www.arte.tv/fr/> を通じご覧いただけると思います。放送日、反響などは追ってお知らせいたします。

本年もよろしくお願いいたします。

皆様のご多幸と健勝をお祈りいたします。

2020年正月
KAMI Productions
渡辺謙一